

防災訓練実施結果報告書

原子力規制委員会 殿		平成 2 5 年 6 月 1 9 日
報告者 住所 茨 海村舟石川 6 2 2 番地 1 2 氏名 ニ デベロップメント株式会社 取 村 仁 (担当者 管理部 1-282-9111)		
防災訓練の実施の結果について、原子力災害対策特別措置法第 1 3 条の 2 第 1 項の規定に基づき報告します。		
原子力事業所の名称及び場所	ニュークリア・デベロップメント株式会社 茨城県那珂郡東海村舟石川 6 2 2 番地 1 2	
防災訓練実施年月日	平成 2 4 年 8 月 8 日	
防災訓練のために想定した原子力災害の概要	燃料ホットラボのサービスエリアにてコンセントから発火し、可燃性放射性廃棄物に引火、廃棄物中の放射性物質が煙とともに排気筒より環境に放出され、原災法 1 0 条通報レベルに達した。	
防災訓練の項目	総合訓練 ① 召集訓練、②救出・消火訓練、③通報訓練、 ④モニタリング訓練、⑤情報収集・連絡調整・広報訓練	
防災訓練の内容	① 召集訓練（防災要員召集、活動本部設置、屋外者避難指示） ② 救出・消火訓練（負傷者救出、自治体消防との連携による消火、負傷者救急搬出） ③ 通報訓練（異常事象発生通報、特定事象発生通報、異常事態通報、東海 NOAH 協力要請通報） ④ モニタリング訓練（放射線モニタ指示値情報収集、被ばく・汚染測定、周辺環境放射線測定） ⑤ 情報収集・連絡調整・広報訓練（災害関連情報収集、OFC（模擬）等との連絡調整、プレス（模擬）発表）	
防災訓練の結果の概要	訓練項目、内容ともにほぼ所期の目標（時間、実施事項、等）を達成して終了した。	
今後の原子力災害対策に向けた改善点	① 書式、帳票類、等を最新版状態に維持すること。 ② ブラインド型訓練の取り込みを図ること。	

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

- 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。